

英語科教育 実技・理論研修会 終了報告

<p>テーマ</p>	<p>英語の授業を英語で行うためのアイデア ～授業をコミュニケーションの機会とするために～</p>	
<p>日時</p>	<p>平成29年 8月 9日(水)</p>	
<p>会場</p>	<p>石狩教育研修センター</p>	
<p>講師</p>	<p>佐藤 千秋 氏 (帯広市立帯広第八中学校) 藤野 雄介 氏 (留萌市立留萌中学校)</p>	
<p>参加者</p>	<p>35名</p>	
<p>研修会 の 様子</p>		<p>講師の佐藤先生は、帯広の帯広第八中学校教諭で英語を使える北海道の若者を育てることを目標に日々指導にあたっていらっしゃいます。「英語の授業は英語で」を基本に授業改善に取り組んでいる先生です。</p>
		<p>講師の藤野先生は、留萌中学校にお勤めです。また留萌管内英語研究会で事務局長を務めている先生です。昨年度管内の研究大会で初めて英語の授業英語で行いました。</p>
		<p>本研修会では、「英語の授業を英語で行うためのアイデア～授業をコミュニケーションの機会とするために～」と題し、教科書本文などを理解した後、どのようなアウトプットをするかという視点から、授業改善の提案をいただきました。</p>
		<p>英語教師が関心を持っている教科書の扱い方とインタラクション(本文の内容理解を、生徒と教師、生徒と生徒の英語会話を通しておこなう方法)について提案していただきました。また参加者どうしが生徒役となり実際にペアワーク方法を模擬体験しました。</p>